

日本教育大学協会が学長・学部長等連絡協議会を開催

今年度の日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会が10月8日、千代田区竹橋のKKRホテル東京で開催された。

冒頭の出口利定日本教育大学協会長（東京学芸大学長）の挨拶では、高大接続改革について、目的養成である国立教員養成系大学・学部は特に期待されていること、今後、予想される教員需要の減少については、喫緊の課題であり、教員養成系大学・学部の存在意義についてデータ化し、アピールしていく必要があることや、現職教員の研修の拡充については、教員養成系大学・学部の新たな役割として期待されており、教育委員会と密に連携していくことが必要であると述べられた。

その後、塩見みづ枝高等教育局大学振興課長から、高大接続改革等についての説明があり、また、昨今の新聞報道に触れて、文部科学省としては教員養成系大学・学部が重要であるという認識に変わりはないと述べられた。

引き続き協議会では、出口会長から当日に行われた理事連絡会の報告があった後、各委員会からの報告及び各大学等から提案された議題について意見交換を行った。提案議題においては、高大接続改革等について、各大学・学部における先進的な取組事例が紹介され、活発な議論が行われた。

また、夕方には同会場で情報交換会があり、小田切忠人副会長（琉球大学教育学部長）の開会の辞に続き、柳澤好治高等教育局大学振興課教員養成企画室長にご挨拶をいただき、毛利猛議長（香川大学教育学部長）の音頭で乾杯となった。その後、大いに歓談し親睦を深め、首藤敏元副会長（埼玉大学教育学部附属中学校長・全国国立大学附属学校連盟理事長）の挨拶で閉会となった。



出口会長



塩見大学振興課長



毛利議長

<<情報交換会>>



柳澤教員養成企画室長



小田切副会長



首藤副会長



左から柳澤教員養成企画室長、見上宮城教育大学長、栗林大阪教育大学長、岡本大阪教育大学副学長



左から永木会計部長、出口会長、森教員養成企画室室長補佐、勝山事務局長、國分東京学芸大学理事、池谷岐阜大学教育学部長